

# 北陸新幹線の利用状況等に関する調査 (企業向け) 結果概要

上越市 総合政策部 交通政策課

## 1 調査目的

市内企業を対象に、北陸新幹線や在来鉄道の利用状況や課題などについて調査し、これからの利用促進や利便性向上の取組に反映させるためにアンケートを実施するもの。  
また、上越妙高駅周辺地区商業地域への進出意向についても併せて調査するもの。

## 2 調査概要

- ・ 調査対象：市内企業 3,919社  
内訳：上越商工会議所会員企業、13区商工会会員企業、未加入の市内主要企業（4社）
- ・ 調査方法：郵送、web上フォーム、fax（無記名）
- ・ 調査期間：7月上旬～8月30日（金）  
【延長】～9月13日（金）

## 3 回収結果

回答数：309社（回答率：7.9%）

（参考）平成30年度実施時

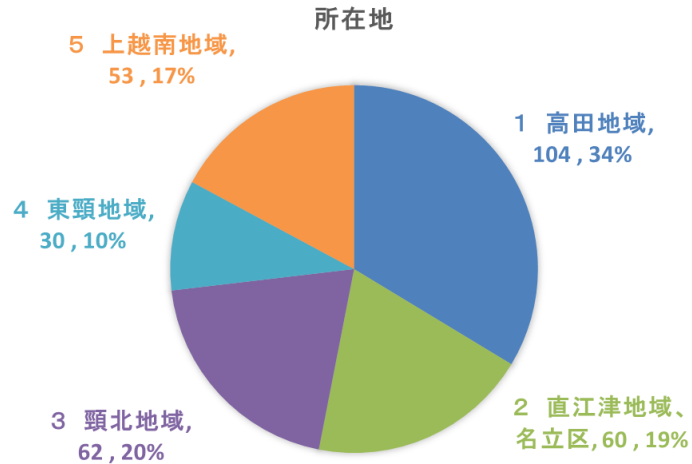
調査対象：3,899社、回答数：403社、回答率：10.3%

（参考）回答方法

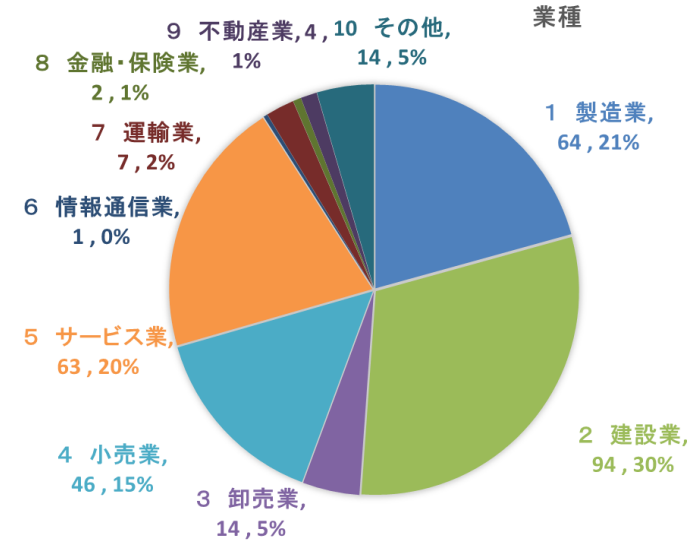
|     | 回答数 | 回答率    |
|-----|-----|--------|
| 郵送  | 188 | 60.9%  |
| web | 111 | 35.9%  |
| fax | 10  | 3.2%   |
| 計   | 309 | 100.0% |

## 4 調査結果

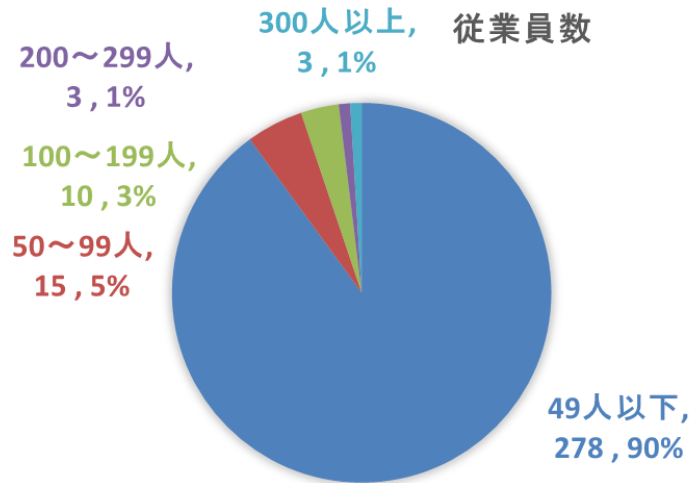
### (1) 所在する地域(n=309)



### (2) 業種(n=309)



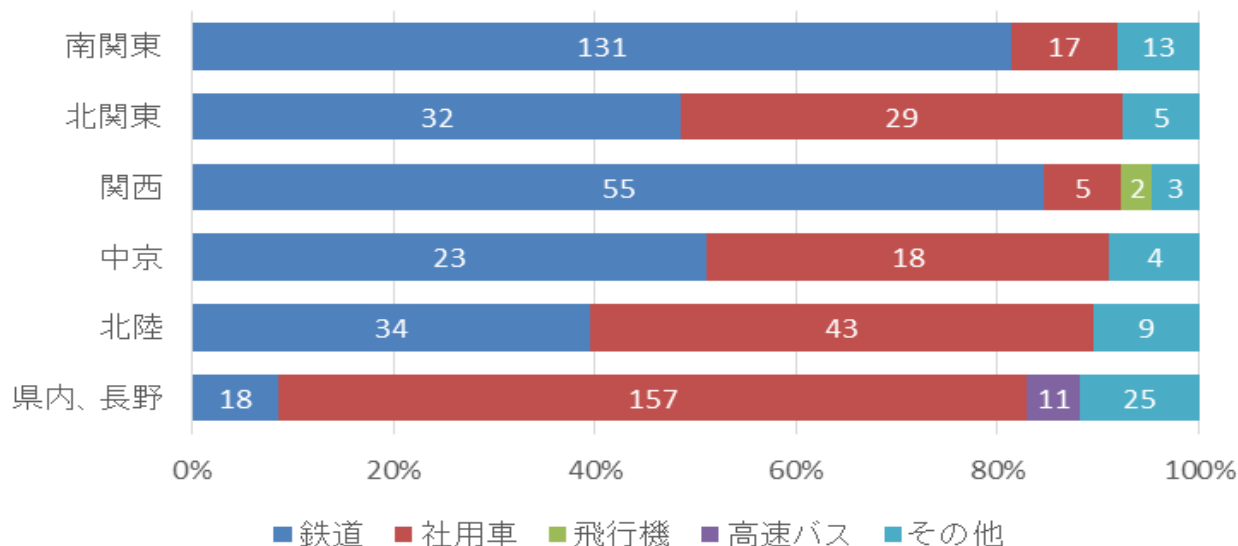
### (3) 市内事業所の従業員数(n=309)



## (4) 今後1年間の出張の有無（n=309）と移動手段

※最も頻度の高い交通手段をひとつ選択

### 移動手段



南関東 ... 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

北関東 ... 群馬県、茨城県、栃木県

関西 ... 京都府、大阪府など

中京 ... 愛知県、岐阜県など

北陸 ... 富山県、石川県、福井県

| 方面    | 出張のある企業<br>(社) (%) |     | 移動手段 |     |     |     |           |          |          |          |
|-------|--------------------|-----|------|-----|-----|-----|-----------|----------|----------|----------|
|       |                    |     | 鉄道   |     | 社用車 |     | その他       |          |          |          |
|       | (社)                | (%) | (社)  | (%) | (社) | (%) | (社)       |          | (%)      |          |
| 南関東   | 161                | 52  | 131  | 81  | 17  | 11  | 13        |          | 8        |          |
| 北関東   | 66                 | 21  | 32   | 48  | 29  | 44  | 5         |          | 8        |          |
| 関西    | 65                 | 21  | 55   | 84  | 5   | 8   | 飛行機 : 2   | その他 : 3  | 飛行機 : 3  | その他 : 5  |
| 中京    | 45                 | 15  | 23   | 51  | 18  | 40  | 4         |          | 9        |          |
| 北陸    | 86                 | 28  | 34   | 40  | 43  | 50  | 9         |          | 10       |          |
| 県内、長野 | 211                | 68  | 18   | 9   | 157 | 74  | 高速バス : 11 | その他 : 25 | 高速バス : 5 | その他 : 12 |

## 【概要】

- 県外への出張で活用される移動手段は、目的地までの移動距離や目的地での公共交通の豊富さに相関関係がある。

具体的には、公共交通が充実している南関東や関西圏への移動は鉄道利用が80%以上であり、社用車利用は10%程度だった一方、北関東、北陸及び中京圏へは社用車利用が40～50%だった。

また、北陸新幹線を利用していない理由からも読み取れるように、荷物の多寡、出張人数等によっても社用車利用が選択される傾向にある。

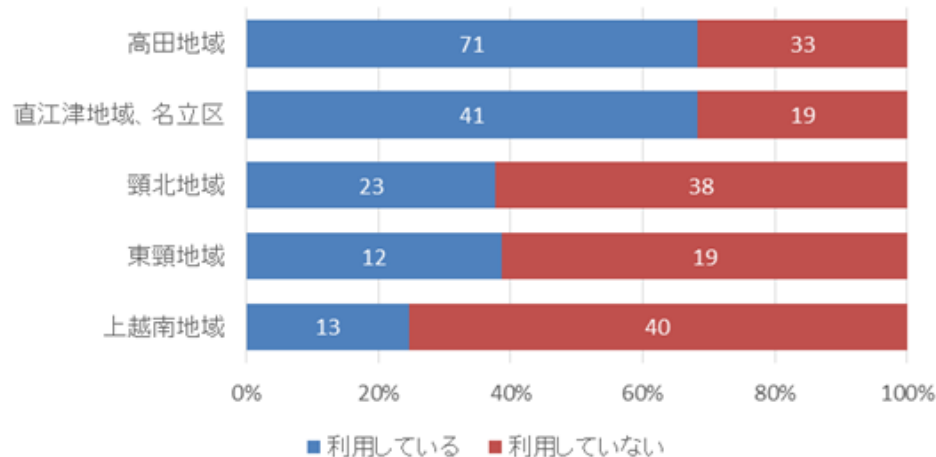
## (5)-1 北陸新幹線の利用状況(n=309)

北陸新幹線利用状況



### (5)-1-1 北陸新幹線を利用していると回答した企業の所在地(n=309)

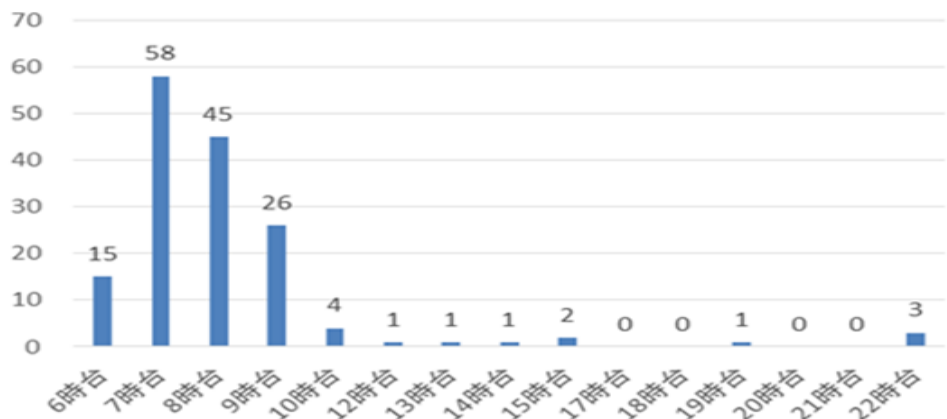
北陸新幹線利用企業の所在地



高田地域 … 高田区、新道区、金谷区、春日区、諏訪区、津有区、三郷区、和田区、高土区  
 直江津地域、名立区 … 直江津区、有田区、八千浦区、保倉区、北諏訪区、谷浜・桑取区、名立区  
 頸北地域 … 柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区  
 東頸地域 … 安塚区、浦川原区、大島区  
 上越南地域 … 牧区、中郷区、板倉区、清里区、三和区

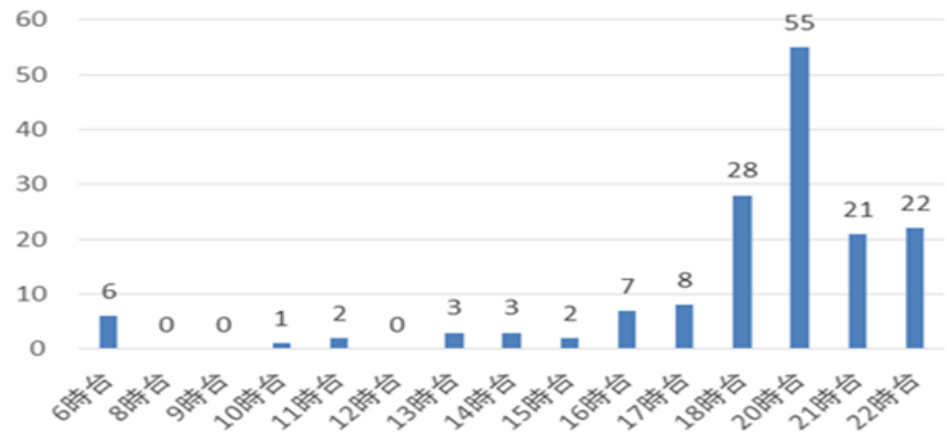
# (5)-2【長野・東京方面】北陸新幹線で出張へ行く際、 最も多く上越妙高駅で乗車する時間帯 (n=157)

【長野・東京方面】乗車時間帯



# (6)-1【長野・東京方面】出張から帰ってくる際、 最も多く上越妙高駅で降車する時間帯 (n=158)

【長野・東京方面】降車時間帯

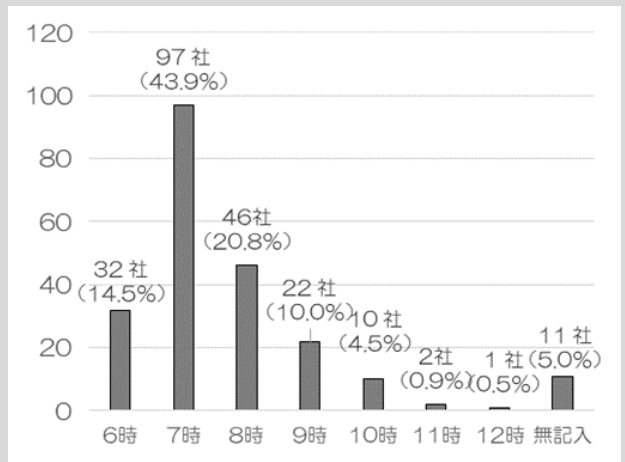


参考：H30アンケート調査

日帰りにおける最多利用列車の時間帯 (n=221)

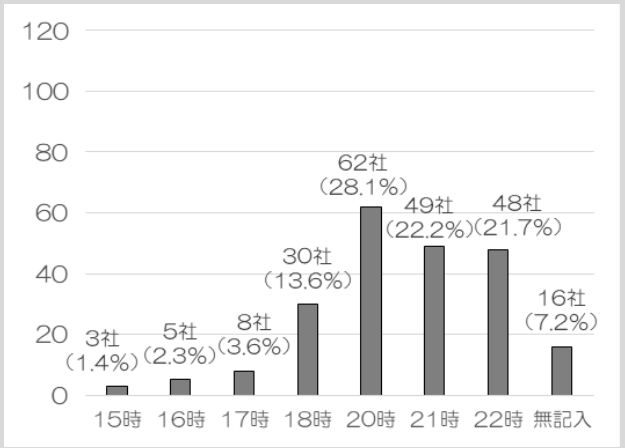
## 【東京方面】

上越妙高駅を出発する列車の時間帯

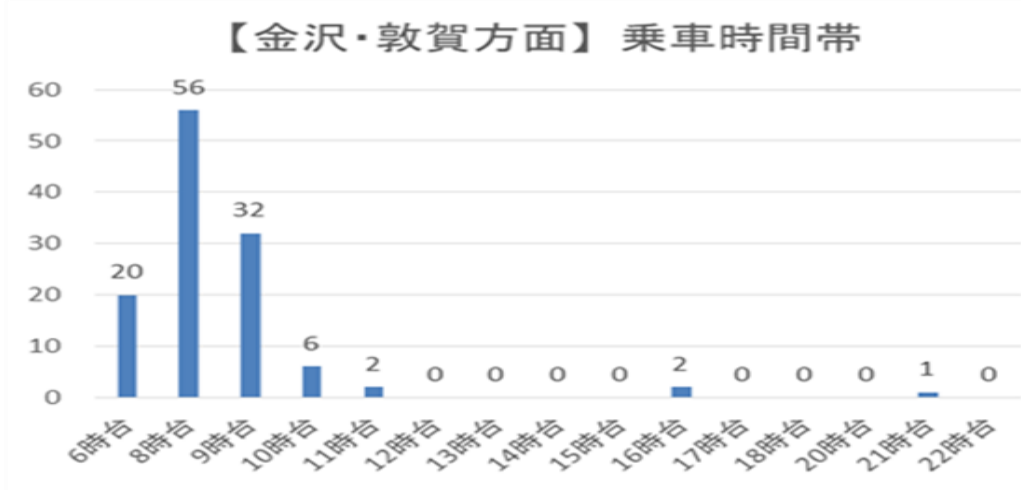


## 【東京方面】

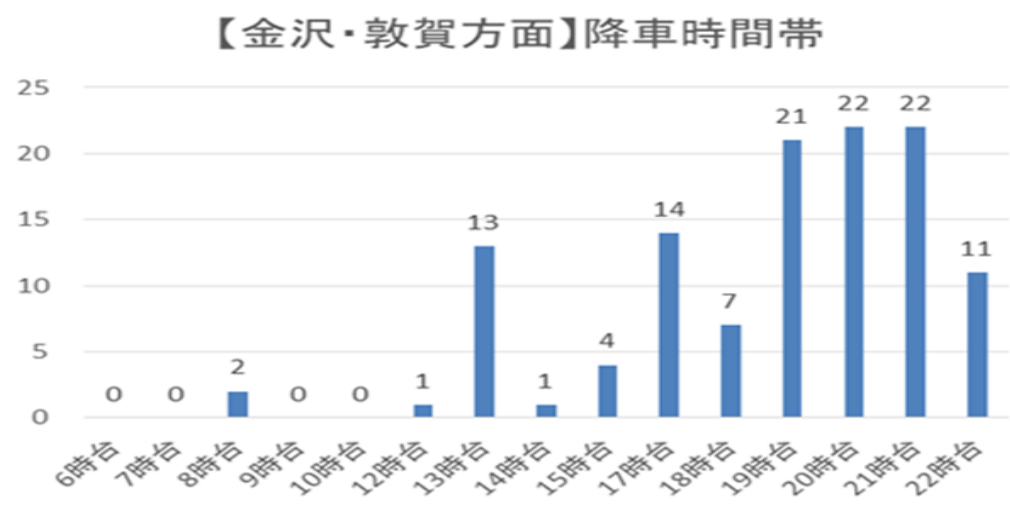
上越妙高駅へ到着する列車の時間帯



(5)-3【金沢・敦賀方面】北陸新幹線で出張へ行く際、  
最も多く上越妙高駅で乗車する時間帯(n=119)



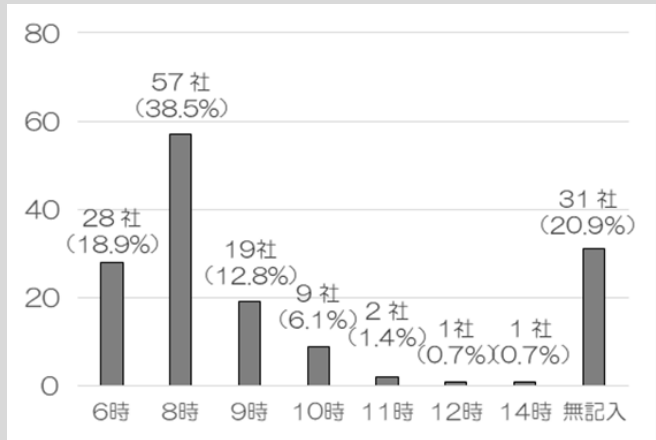
(6)-2【金沢・敦賀方面】出張から帰ってくる際、  
最も多く上越妙高駅で降車する時間帯(n=118)



参考：H30アンケート調査  
日帰りにおける最多利用列車の時間帯 (n=221)

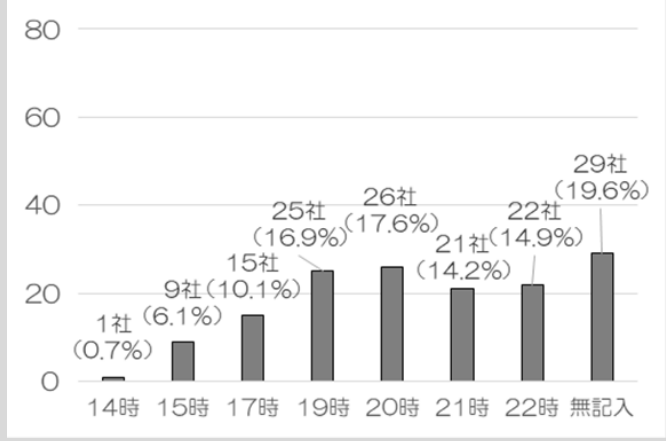
【金沢方面】

上越妙高駅を出発する列車の時間帯



【金沢方面】

上越妙高駅へ到着する列車の時間帯



## 【概要】

### 《東京方面》

- 東京方面への行きでは、上越妙高駅を7時20分に出発する「はくたか552号」が最も多く利用されている。

また、上越妙高駅を6時37分に出発する臨時列車「はくたか596号」も、長野駅で「かがやき500号」に乗り換えることにより東京駅に8時29分に到着できるため、一定数の利用がある。

- 東京方面からの帰りでは、上越妙高駅に20時12分に到着する「はくたか573号」の利用が最も多かった。また、18時台や21時・22時台に到着する便の利用も多く、全体の約8割を占めた。

### 《金沢方面》

- 金沢方面への行きでは、上越妙高駅を8時28分に出発する「はくたか551号」が最も多く利用されている。

- 金沢方面からの帰りでは、午後の到着する便にばらつきは見られるものの、特に19時台～21時台に到着する便の利用が多い。

## 《まとめ》

- 上越妙高駅から東京方面、金沢方面への移動には、いずれも6時～9時に発車する新幹線の利用が多い。
- 帰りにおいては、東京方面からでは、上越妙高駅に18時以降に到着する利用が多く、金沢方面からでは、上越妙高駅に13時台と、17時台以降に到着する新幹線の利用が多く、ばらつきがある。
- 平成30年度に実施した企業向けアンケートの調査結果との比較では、東京方面への移動における乗車・降車の時間帯に大きな変化はなかった。  
一方、金沢方面への移動では、乗車の時間帯に大きな変化はなかったが、降車の時間帯は13時台から利用が見られるようになった。敦賀延伸により移動時間が短縮し、到着時間が早まったことが一因であると推察される。

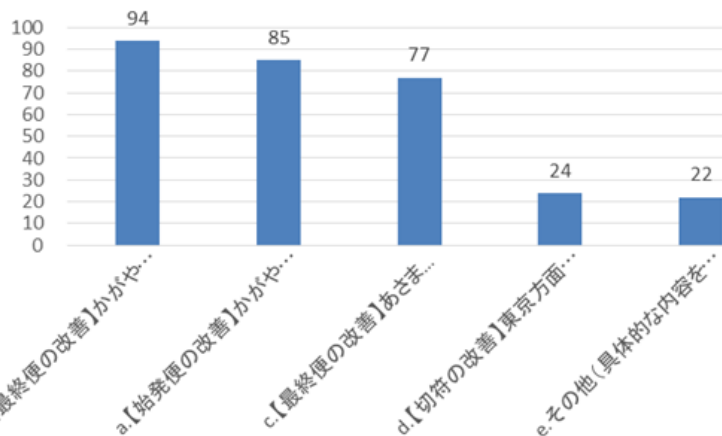
## (7) -1 【長野・東京方面】

### 北陸新幹線の利便性向上を図るために改善してほしいこと（n=302）

※当てはまるもの全てを選択

| 回答項目                                                                                         | 企業数 |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
|                                                                                              | (社) | (%) |
| b. 【最終便の改善】 かがやき519号（東京21:04→金沢23:32）の上越妙高停車<br>《改善効果》東京 21:04→上越妙高 22:45（見込）（東京での滞在時間が伸びる）  | 94  | 31  |
| a. 【始発便の改善】 かがやき500号（金沢6:02→東京8:29）の上越妙高停車<br>《改善効果》上越妙高 6:48（見込）→東京 8:29（乗換不要、毎日利用可能になる）    | 85  | 28  |
| c. 【最終便の改善】 あさま631号（東京21:28→長野23:11）を上越妙高まで延伸<br>《改善効果》東京 21:28→上越妙高 22:45（見込）（東京での滞在時間が伸びる） | 77  | 25  |
| d. 【切符の改善】 東京方面への割引制度の改善（具体的な内容を直接入力してください）                                                  | 24  | 8   |
| e. その他（具体的な内容を直接入力してください）                                                                    | 22  | 7   |

【長野・東京方面】改善してほしいこと



【d. 切符の改善の具体的な内容】

|                       |   |
|-----------------------|---|
| ・回数券の販売               | 4 |
| ・料金の値下げ               | 3 |
| ・往復割引                 | 2 |
| ・出張が多い人向けの割引サービス      | 2 |
| ・週末バスの平日適用            | 1 |
| ・宿泊付き割引               | 1 |
| ・人数で割引                | 1 |
| ・窓口で簡単に買える            | 1 |
| ・回数券のようなシステムをえきねっとに導入 | 1 |
| ・得だね以上の割引             | 1 |
| ・無回答                  | 9 |

【e. その他の具体的な内容】

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| ・かがやきの停車本数増加／全かがやきの停車            | 4 |
| ・あさまの延伸                          | 2 |
| ・東京発17時台の便が欲しい                   | 2 |
| ・3ヶ月前からのきっぷの予約や発売                | 2 |
| ・東京への所要時間の短縮                     | 2 |
| ・上越妙高へ停車本数の増便（かがやきなど）            | 1 |
| ・あさまの停車                          | 1 |
| ・運行本数の増加                         | 1 |
| ・16時半から18時半に帰る→必ず20:12着乗り換えもある不便 | 1 |
| ・上越妙高駅でのトキ鉄への接続時間の見直し            | 1 |
| ・乗換回数をなくす                        | 1 |
| ・料金の見直し                          | 1 |
| ・駐車場の見直し                         | 1 |
| ・ビジネスバスの設定                       | 1 |
| ・特にない                            | 1 |

## 【概要】

- 東京・長野方面では、「かがやき519号（東京21:04→金沢23:32）」の上越妙高駅停車を望む企業が94社あり、31%を占めた。また、「あさま631号（東京21:28→長野23:11）」の上越妙高駅延伸を含めると、東京での滞在時間の延長を希望する企業は約6割となった。

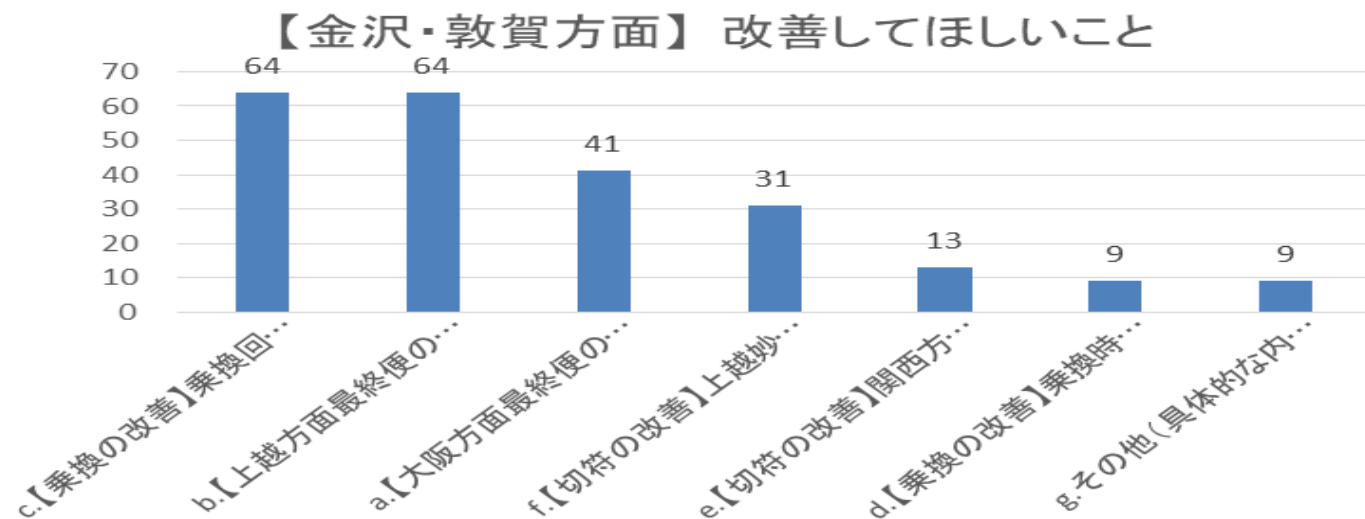
また、「かがやき500号（金沢6:02→東京8:29）」の上越妙高駅停車を求める企業は全体の28%、85社だった。

## (7)-2【金沢・敦賀方面】

### 北陸新幹線の利便性向上を図るために改善してほしいこと (n=231)

※当てはまるものを全てを選択

| 回答項目                                                                                                  | 企業数 |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
|                                                                                                       | (社) | (%) |
| c. 【乗換の改善】 乗換回数の改善 (2回 (金沢と敦賀) から1回 (敦賀のみ) に減らす)                                                      | 64  | 28  |
| b. 【上越方面最終便の改善】 つるぎ46号 (敦賀20:43→富山22:05) を上越妙高まで延伸<br>《改善効果》 大阪19:10 → 上越妙高 22:47 (見込) (大阪での滞在時間が伸びる) | 64  | 28  |
| a. 【大阪方面最終便の改善】 つるぎ49号 (富山20:25→敦賀21:53) を上越妙高まで延伸<br>《改善効果》 上越妙高19:43 (見込) → 大阪23:29 (上越での滞在時間が伸びる)  | 41  | 18  |
| f. 【切符の改善】 上越妙高駅でJR西日本の切符 (企画切符等) を受け取れるようにする                                                         | 31  | 13  |
| e. 【切符の改善】 関西方面への割引制度の改善<br>(具体的な改善内容について直接入力してください)                                                  | 13  | 6   |
| d. 【乗換の改善】 乗換時間の改善 (具体的な改善内容について直接入力してください)                                                           | 9   | 4   |
| g. その他 (具体的な内容を直接入力してください)                                                                            | 9   | 4   |



**【e. 関西方面への割引制度の具体的な改善内容】**

|                        |   |
|------------------------|---|
| ・何かしらの割引               | 2 |
| ・往復割引                  | 1 |
| ・回数券                   | 1 |
| ・乗継割引と同じような割引制度        | 1 |
| ・往復、宿泊付きなどの割引          | 1 |
| ・ビジネスパス、週末パスなどの割引切符の設定 | 1 |
| ・無回答                   | 6 |

**【g. その他の具体的な内容】**

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| ・JR西の切符を受け取れるようにすること                     | 1 |
| ・みどりの窓口の利便性向上                            | 1 |
| ・上越妙高から敦賀まで乗り換えなしの便の増便                   | 1 |
| ・敦賀および金沢からの上越妙高駅停車の最終便が少なく、大阪発の遅い時間帯がない。 | 1 |
| ・無回答                                     | 3 |
| ・特にない                                    | 2 |

**【d. 乗換時間の具体的な改善内容】**

|                     |   |
|---------------------|---|
| ・乗車時間の短縮            | 1 |
| ・待ち時間の短縮            | 1 |
| ・新幹線延伸に伴う全ダイヤでの時間短縮 | 1 |
| ・大阪までの早期延伸と直通運転     | 1 |
| ・無回答                | 4 |

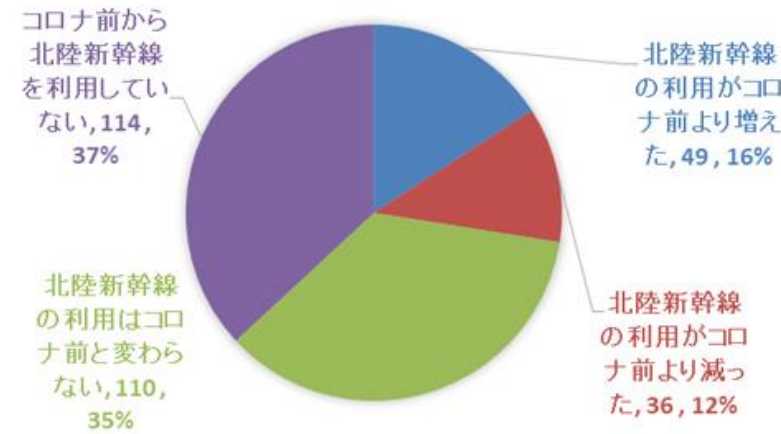
**【概要】**

○ 金沢・敦賀方面では、「つるぎ46号（敦賀20:43→富山22:05）」の上越妙高駅延伸と、「乗換回数の改善」を希望する回答をした企業がそれぞれ64社で最も多く、全体の28%を占めた。

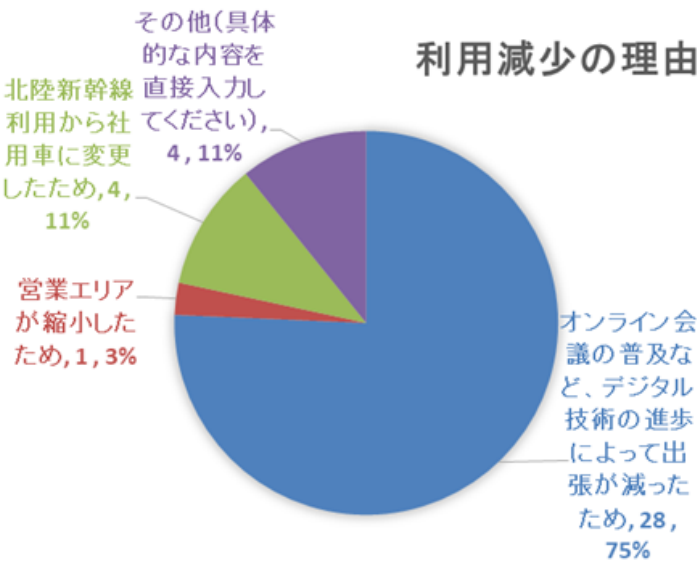
東京方面と同様に、関西圏での滞在時間の延長を求める声が多かったほか、乗換回数が敦賀延伸前と比べ増えたことに対して不満を抱いていることが伺える。

## (8) 新型コロナウイルス感染症に伴う北陸新幹線の利用への影響 (n=309)

コロナによる新幹線利用への影響



## (9) 北陸新幹線の利用が減った理由 (n=37) ※当てはまるもの全てを選択



【その他の具体的な内容】

|                         |   |
|-------------------------|---|
| ・コロナの影響で人込みの多い場所をさけている為 | 2 |
| ・社用車利用                  | 1 |
| ・コロナ禍で売上と出張が激減した為       | 1 |

## 【概要】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、北陸新幹線の利用が減少したと回答した企業は、36社で全体の12%だった。

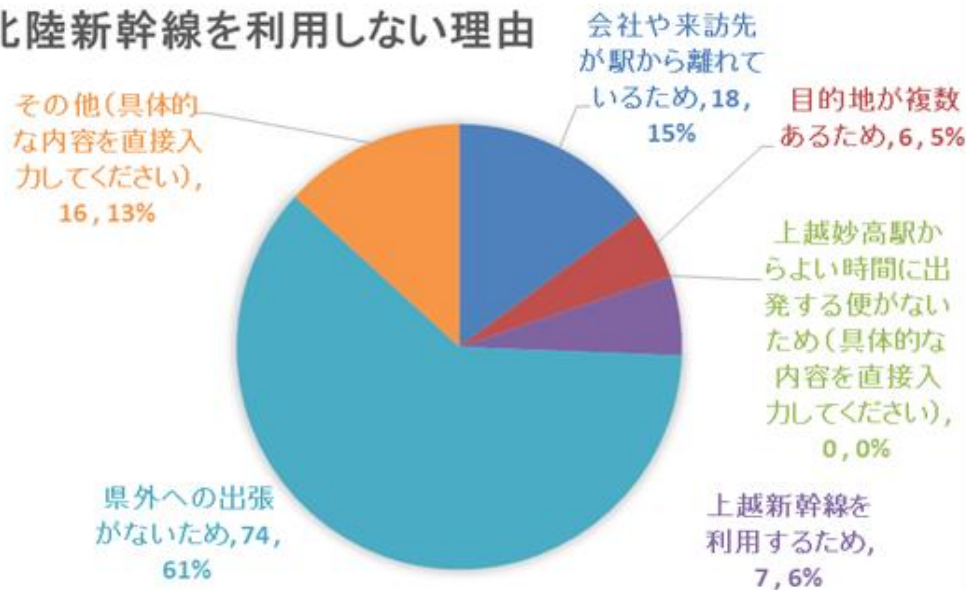
一方、利用が増加したと回答した企業は49社（16%）だったほか、コロナ前と変わらない、またはコロナ前から利用していないとの回答が全体の約8割だった。

アンケート結果からは、コロナによる北陸新幹線利用への影響は残っていないことが読み取れる。

- また、北陸新幹線利用が減少した理由では、オンライン会議の普及などデジタル技術の進歩により出張が減ったという回答が最も多く、全体の75%を占めた。

## (10) 北陸新幹線を利用していない理由 (n=121) ※当てはまるもの全てを選択

北陸新幹線を利用しない理由



### 【その他の具体的な内容】

|                                                |   |
|------------------------------------------------|---|
| ・荷物が多いため                                       | 3 |
| ・時間帯が遅いため                                      | 2 |
| ・仕事として使う機会がない                                  | 1 |
| ・北陸新幹線を利用する距離への出張がないため                         | 1 |
| ・駅までのアクセス、乗り継ぎが悪く、どうせ車で行くなら行き先まで乗り込んだ方が便利で早いから | 1 |
| ・無回答                                           | 4 |

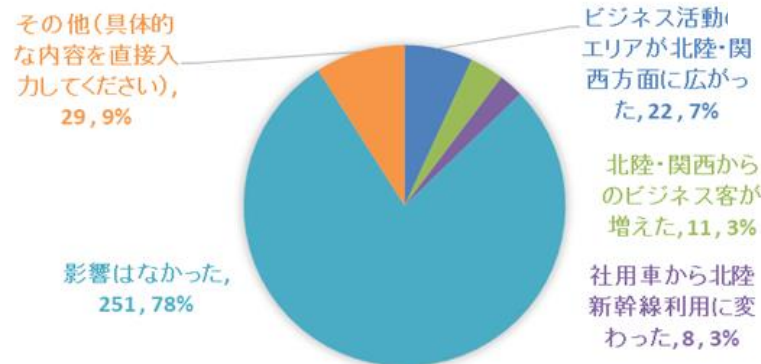
※具体例を2つ記載の回答があるため、回答数と不一致

### 【概要】

- 北陸新幹線を利用しない理由として、「県外へ出張がないため」という回答が最も多く、全体の61%を占めた。また、「上越妙高駅からよい時間に出発する便がないため」と回答した企業はなかった。
- 会社や出張先が駅から離れている場合や荷物を持って出張先へ行く場合など、社用車を利用せざるを得ない状況があると考えられる。

# (11) 令和6年3月16日の北陸新幹線の敦賀（福井県）延伸に伴う、 関西方面のビジネス活動への影響（n=321）※当てはまるもの全てを選択

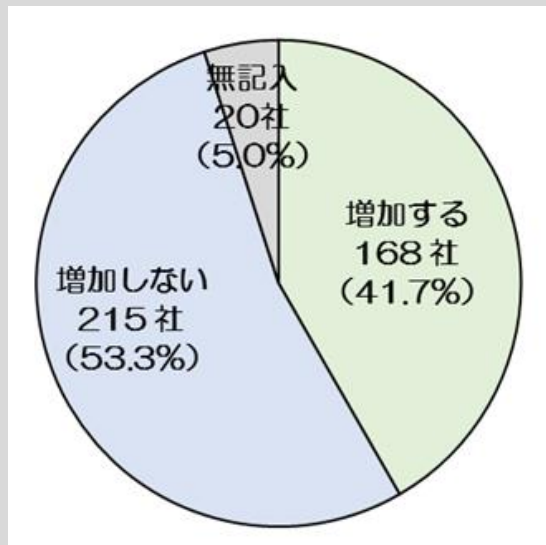
敦賀延伸のビジネスへの影響



【その他の具体的な内容】

|        |    |                                          |
|--------|----|------------------------------------------|
| プラス意見  | 5  | 関西方面のアクセスが向上した                           |
|        |    | 大阪までの移動時間が短縮された。サンダーバードの乗車時間が減り、快適になった   |
|        |    | 敦賀に延伸というよりも北陸新幹線開通に伴い、関西圏でのビジネス効果が増加した   |
|        |    | 関西からの観光客が増えることを今後期待する                    |
|        |    | 所要時間が短縮され助かる                             |
| マイナス意見 | 4  | 面倒になった。大して時間短縮にならず乗り換えもあり金額も高い。          |
|        |    | 延伸しても乗車できる便が限定されること、運賃の上昇でメリットがマイナスしかない。 |
|        |    | 関西方面からの旅行ツアーにおける上越妙高駅利用が激減した。            |
| 無回答    | 12 | 乗り換えの時間がありすぎ。高くなったから                     |
|        | 7  | 利用していない、関西に行かない                          |
|        | 1  | 特になし                                     |

参考：H30アンケート調査 今後の北陸新幹線の利用見込み（n=403）



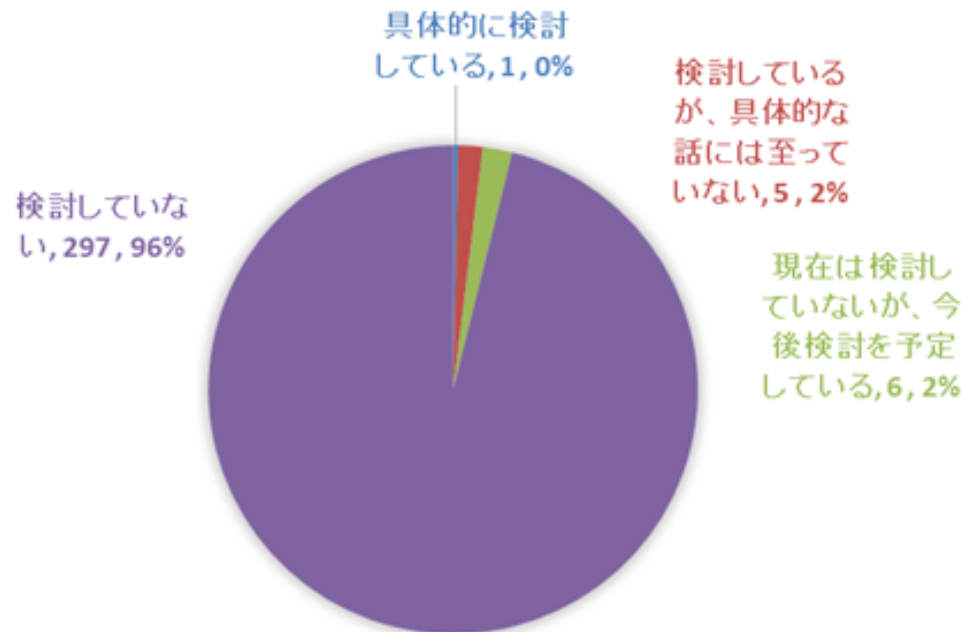
## 【概要】

- 北陸新幹線敦賀延伸による、関西方面のビジネス活動の変化について、変化はなかったと回答した企業は全体の約8割を占めた。
- 平成30年度アンケート結果では、敦賀延伸後に北陸新幹線を利用して北陸方面へ向かう機会が増加する見込みと回答した企業は41.7%、増加しない見込みと回答した企業は53.3%だった。

延伸して間もない時期でのアンケート調査だったことや、オンライン技術の普及などにより、現時点では、北陸新幹線利用には結びついていない状況にある。

(12) 上越妙高駅周辺地区への進出について、現在の検討状況（n=309）と

(13) 検討の余地がある企業名



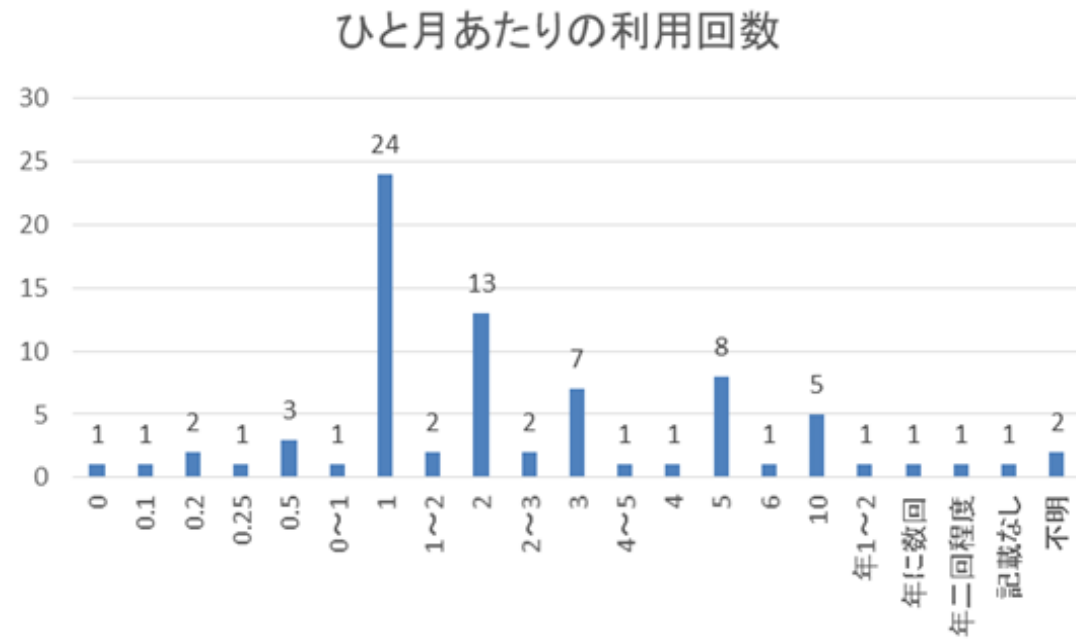
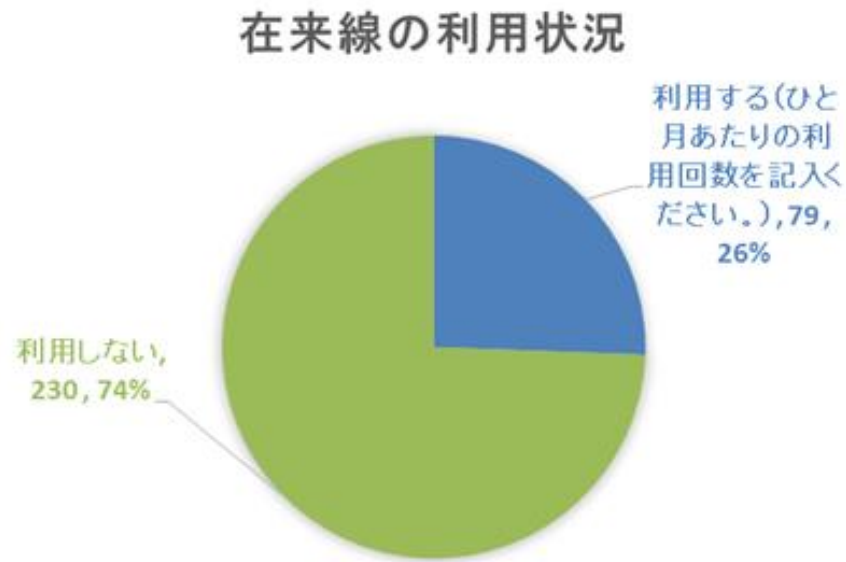
上越妙高駅周辺地区への進出検討状況

【概要】

○ 何かしら検討している、または、今後検討を予定している企業は12社あった。

## (14) 社用（出張等）での

### 在来線（えちごトキめき鉄道・ほくほく線・信越本線）の利用（n=309）



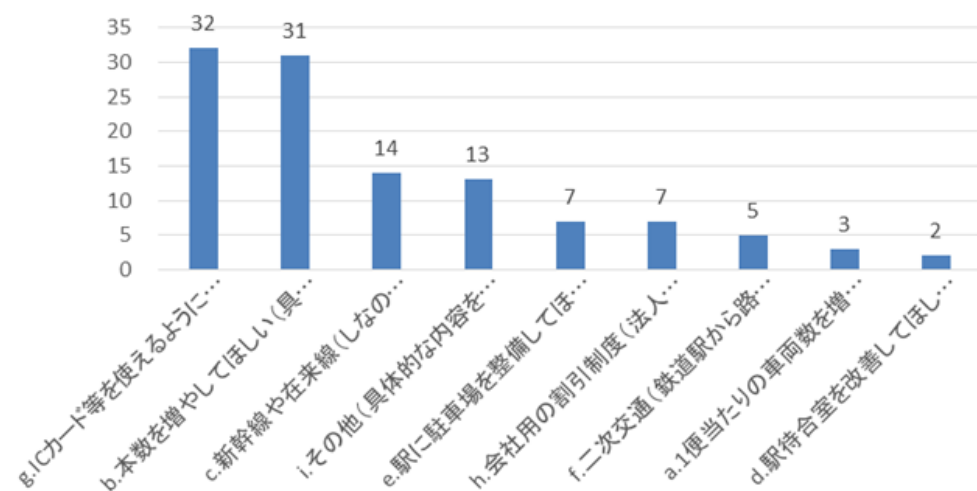
#### 【概要】

- 業務で在来線を利用している企業は26%。利用回数は1~2回と回答した企業が多く、業務での在来線利用は少ない。
- 平成30年度アンケート結果では、利用するが40.5%、利用しないが54.5%だった。前回調査よりも利用する割合が減少した。

## (15) 在来線の利用にあたり、改善してほしいこと（n=114）※当てはまるもの全てを選択

| 回答項目                                                          | 企業数 |     |
|---------------------------------------------------------------|-----|-----|
|                                                               | (社) | (%) |
| g. ICカード等を使えるようにしてほしい                                         | 32  | 28  |
| b. 本数を増やしてほしい（具体的な内容を直接入力してください）                              | 31  | 27  |
| c. 新幹線や在来線（しなの鉄道やあいの風とやま鉄道を含む）との接続をよくしてほしい（具体的な内容を直接入力してください） | 14  | 12  |
| i. その他（具体的な内容を直接入力してください）                                     | 13  | 11  |
| e. 駅に駐車場を整備してほしい（駅名を直接入力してください）                               | 7   | 6   |
| h. 会社用の割引制度（法人用年間利用券など）を創設してほしい                               | 7   | 6   |
| f. 二次交通（鉄道駅から路線バスなどへの乗換）を充実してほしい（具体的な内容を直接入力してください）           | 5   | 4   |
| a. 1便当たりの車両数を増やしてほしい（具体的な内容を直接入力してください）                       | 3   | 3   |
| d. 駅待合室を改善してほしい（駅名や改善内容を直接入力してください）                           | 2   | 2   |

改善してほしいこと(在来線)



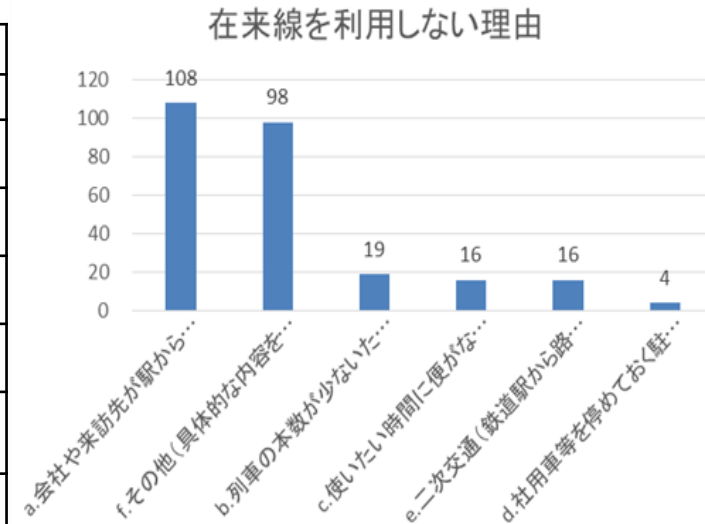
### 【概要】

○ 要望面では、ICカード等の導入や本数の増便、一部の路線では運行時間（特に夜間）の拡大を希望する声が多かった。

また、新潟方面において、特急「しらゆき」や快速列車の増便を要望する意見もあった。

## (16) 在来線を利用しない理由 (n=261) ※当てはまるもの全てを選択

| 回答項目                                                  | 企業数 |     |
|-------------------------------------------------------|-----|-----|
|                                                       | (社) | (%) |
| a. 会社や来訪先が駅から離れているため                                  | 108 | 41  |
| f. その他（具体的な内容を直接入力してください）                             | 98  | 38  |
| b. 列車の本数が少ないため（具体的な内容を直接入力してください）                     | 19  | 7   |
| c. 使いたい時間に便がないため（具体的な内容を直接入力してください）                   | 16  | 6   |
| e. 二次交通（鉄道駅から路線バスなどへの乗換）が充実していないため（具体的な内容を直接入力してください） | 16  | 6   |
| d. 社用車等を停めておく駐車場がないため（駅名を直接入力してください）                  | 4   | 2   |



### 【概要】

○ 在来線を利用しない理由では、会社や来訪先が駅から離れているためと回答した企業が108社で最も多く、全体の約4割を占めた。

また、「利用する必要がない、出張がない」と回答した企業が33社、「荷物があるため社用車を活用」と回答した企業が28社あった。

目的地が駅から離れていることや本数が少ないことなど、社用車と比べ利便性が低いことが要因で、在来線を利用していないことが伺われる。

# (17) 貴社において、

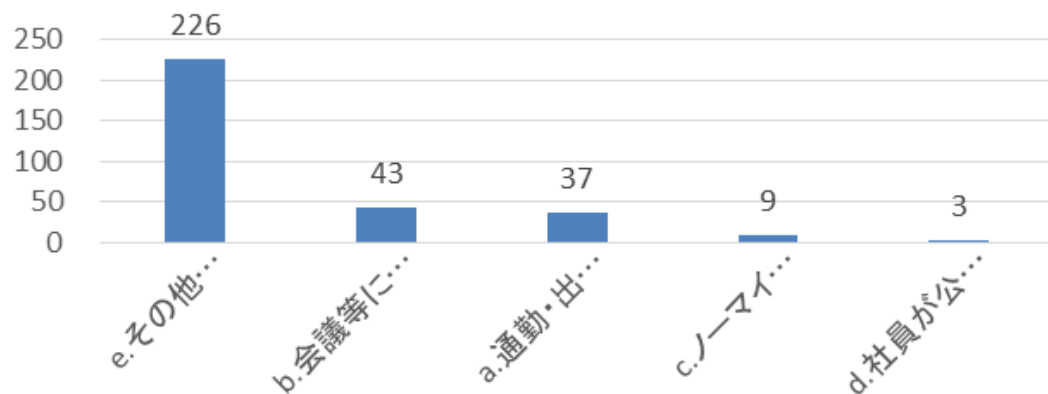
## 通勤や業務での公共交通機関の利用を促進する具体的な取組 (n=317)

※当てはまるもの全てに回答

| 回答項目                                                   | 企業数 |     |
|--------------------------------------------------------|-----|-----|
|                                                        | (社) | (%) |
| e. その他（具体的な内容を直接入力してください）                              | 226 | 71  |
| b. 会議等における公共交通機関の利用に配慮した時間・場所の設定                       | 43  | 14  |
| a. 通勤・出張等の社用時における公共交通機関の利用啓発（パンフレット、チラシ配布）             | 37  | 12  |
| c. ノーマイカー通勤デーの実施                                       | 9   | 3   |
| d. 社員が公共交通機関を利用したことに対するインセンティブ制度の導入（具体的な内容を直接入力してください） | 3   | 1   |

※その他における具体的な内容の記入において、無回答が115社、「取組なし」が78社

### 社内の取組



## 【概要】

- 利用促進の取組を行っていない企業が多い中で、会議等の開催における配慮や通勤等の利用啓発に取り組んでいる企業が80社あった。
- その他の回答では、「駅などが遠いため、通勤の手段が車しかない」「バスなどと時間帯が合わない」など、消極的な意見が多かった一方で、「事故防止にもなるので公共交通機関利用を促す」「懇親会等が付帯した会議は極力公共交通機関を利用するよう努めている」「出張の負荷を軽減するため、遠方への移動は電車とレンタカーの組み合わせを推奨している」という意見もあった。